

研究名：

静脈管欠損の胎児診断と先天性門脈体循環シャントの関係を検証する 後方視的研究

1．研究の目的

本研究の目的は胎児期に静脈管欠損と診断され、出生後に先天性門脈体循環シャントと診断された方の特徴を明らかにすることです。

2．研究の方法

研究対象：2012年1月～2023年12月に胎児静脈管欠損と診断され、当センターで周産期管理された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年10月

研究方法：診療録より、以下の情報（3.研究に用いる情報の種類を参照ください）を抽出し、調査いたします。

3．研究に用いる情報の種類

胎児期の超音波所見、分娩時の情報、出生後の先天性門脈体循環シャントの診断、出生後の検査データ（画像診断、血液検査、染色体検査など）、治療方法 等

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、10月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 産科 衣斐 凜子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7244）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 産科 衣斐 凜子